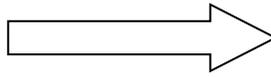


平成26年度 学校法人福岡大学収支予算について

平成26年度予算の編成方針

1. 学生サービスのさらなる充実
2. 将来を展望した諸施策の実施
3. 財務体質の改善

教育研究の個性化・高度化



国際化の推進・産学官連携

平成26年度予算の重点施策

- (1) 教育体制の整備・充実
- (2) 研究・情報体制の整備・充実
- (3) 医療・健康体制の整備・充実
- (4) 社会貢献の整備・充実
- (5) 経営基盤の強化

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。収入（帰属収入）の36.1%を占めます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院や筑紫病院の医療収入です。

平成26年度消費収支予算

(予算規模738億円)

(単位:千円)

消費収入の部			
科目	26年度予算額	25年度予算額	差異
学生生徒等納付金	26,604,603	26,294,010	310,593
手数料	1,276,201	1,251,520	24,681
寄付金	885,274	1,184,380	△ 299,106
補助金	5,258,374	5,601,660	△ 343,286
資産運用収入	560,636	506,180	54,456
事業収入	983,098	958,840	24,258
医療収入	36,824,318	34,860,900	1,963,418
雑収入	1,417,485	1,280,110	137,375
帰属収入合計	73,809,989	71,937,600	1,872,389
基本金組入額合計	△ 4,072,098	△ 5,202,210	1,130,112
消費収入の部合計	69,737,891	66,735,390	3,002,501

学校法人福岡大学が提供した教育・研究等の対価として受け取る収入で負債とならない収入です。

良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額であり帰属収入から差し引く金額です。

教職員に支払われる給与などのことです。収入（帰属収入）の53.3%が充てられています。

学校法人福岡大学が消費する用役に対して支出する金額です。

消費支出の部			
科目	26年度予算額	25年度予算額	差異
人件費	39,327,721	38,246,260	1,081,461
(退職給与引当金繰入額)	(2,437,178)	(2,032,280)	(404,898)
教育研究経費	30,289,024	29,193,320	1,095,704
(減価償却額)	(6,021,767)	(6,401,190)	(△ 379,423)
管理経費	3,086,748	3,133,380	△ 46,632
(減価償却額)	(415,721)	(466,910)	(△ 51,189)
借入金等利息	197,574	219,720	△ 22,146
資産処分差額	0	2,543,460	△ 2,543,460
予備費	436,770	437,220	△ 450
消費支出の部合計	73,337,837	73,773,360	△ 435,523
当年度消費支出超過額	3,599,946	7,037,970	
前年度繰越消費支出超過額	17,286,407	19,673,620	
翌年度繰越消費支出超過額	20,886,353	26,711,590	
帰属収支差額	472,152	△ 1,835,760	2,307,912

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

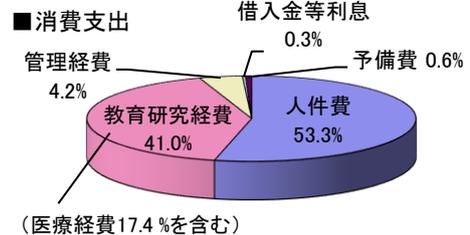
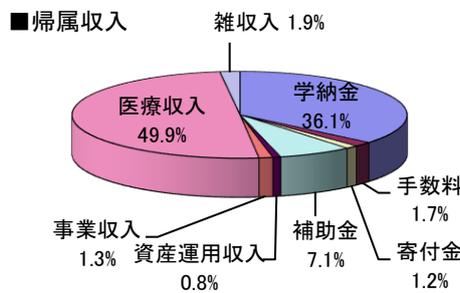
総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

帰属収入から消費支出を差し引いたものであり、純資産の増減を示します。

消費収支予算の概要

(前年度予算との比較)

注: ↑… 増加を示す
↓… 減少を示す



※各科目の構成比率は帰属収入を100%として表示しています。

《消費収入の部》

- 医療収入 ↑ 福岡大学病院、筑紫病院における入院患者数や診療単価の増加。

《消費支出の部》

- 人件費 ↑ 福岡大学病院、筑紫病院の職員数の増加。
- 教育研究経費 ↑ 福岡大学病院、筑紫病院に係る医療経費の増加。

◎帰属収入合計は738億円となり、前年比で19億円の増加を見込んでいます。

◎消費支出合計は733億円となり、前年比で4億円の減少となっています。

〔消費収入と消費支出〕 帰属収入から基本金組入額を差し引いた697億円が消費収入です。この額が消費支出に充てることのできる金額となりますが、今年度は733億円の消費支出を見込んでおり、消費収入と比較すると36億円の消費支出超過予算となっています。

〔帰属収支差額〕 帰属収入から消費支出を差し引いたものを帰属収支差額といいます。今年度は5億円の帰属収入超過を見込んでおり、前年比では23億円の増加となっています。

平成26年度資金収支予算

(予算規模1,060億円)

(単位:千円)

収入の部			
科目	26年度予算額	25年度予算額	差異
学生生徒等納付金収入	26,604,603	26,294,010	310,593
手数料収入	1,276,201	1,251,520	24,681
寄付金収入	885,274	1,184,380	△ 299,106
補助金収入	5,258,374	5,601,660	△ 343,286
資産運用収入	560,636	506,180	54,456
事業収入	983,098	958,840	24,258
医療収入	36,824,318	34,860,900	1,963,418
雑収入	1,417,485	1,280,110	137,375
前受金収入	5,328,751	5,442,040	△ 113,289
その他の収入	21,843,353	23,416,920	△ 1,573,567
資金収入調整勘定	△ 12,670,878	△ 12,251,900	△ 418,978
収入計	88,311,215	88,544,660	△ 233,445
前年度繰越支払資金	17,738,710	20,675,790	△ 2,937,080
収入の部合計	106,049,925	109,220,450	△ 3,170,525

(単位:千円)

支出の部			
科目	26年度予算額	25年度予算額	差異
人件費支出	39,092,849	38,079,740	1,013,109
教育研究経費支出	24,228,517	22,792,130	1,436,387
管理経費支出	2,671,027	2,666,470	4,557
借入金等利息支出	197,574	219,720	△ 22,146
借入金等返済支出	533,270	288,880	244,390
施設関係支出	1,445,505	2,801,060	△ 1,355,555
設備関係支出	2,789,414	3,943,590	△ 1,154,176
資産運用支出	6,379,178	5,828,290	550,888
その他の支出	16,170,047	19,612,300	△ 3,442,253
予備費	440,000	440,000	0
資金支出調整勘定	△ 5,671,768	△ 5,588,420	△ 83,348
支出計	88,275,613	91,083,760	△ 2,808,147
次年度繰越支払資金	17,774,312	18,136,690	△ 362,378
支出の部合計	106,049,925	109,220,450	△ 3,170,525

(単位:千円)

・長期、短期の貸付金の回収額。
・税金等の預り金受入額。
・特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額。

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資金を積み立てるための支出などです。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

資金収支予算の概要 (前年度予算との比較)

注: ↑… 増加を示す
↓… 減少を示す

《収入の部》

- 医療収入 ↑ 福岡大学病院、筑紫病院における入院患者数や診療単価の増加。
- その他の収入 ↓ 税金等の預り金の減少。

《支出の部》

- 人件費支出 ↑ 福岡大学病院、筑紫病院の職員数の増加。
- 教育研究経費支出 ↑ 福岡大学病院、筑紫病院に係る医療経費の増加。
- 施設関係支出 ↓ 新規施設の建設費等の減少。
- 設備関係支出 ↓ 筑紫病院新病院完成に伴う機械器具の購入の減少。
- その他の支出 ↓ 筑紫病院に係る前期末未払金支出の減少。

〔資金収支規模と次年度繰越支払資金〕

- 資金収支予算の合計は1,060億円で、前年比32億円の財政規模縮小予算となっています。
- 資金収支のてん末としての次年度繰越支払資金は178億円で、前年比4億円の減少となっています。

〔学校法人会計の豆知識〕

●資金収支計算とは

- ①当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入および支出の内容を明らかにします。
- ②当該会計年度における支払資金(現金等)の収入および支出のてん末を明らかにします。

●消費収支計算とは

- ①当該会計年度の消費収入および消費支出の内容と均衡を明らかにします。
 - ・消費収入とは、帰属収入(負債とならない収入)から基本金に組み入れた額を控除した収入です。
 - ・消費支出とは、当該会計年度中に消費する用役の対価および減価償却額等の非資金を加えたものです。